

# 実行計画書【学校】

2022年7月28日  
神奈川県ビリヤード協会

## 1. 企画

【公益事業】 神奈川県内の学校へのビリヤード台の設置活動。

## 2. 目的

ジュニア世代へのビリヤードの普及活動の強化を目的とする。

## 3. 学校の場所の調査結果

神奈川県下の学校は2456校ありました。

この内、幼稚園、小学校の児童はビリヤードを行うには早い年齢なので除外すると954校となります。

神奈川県下の都市毎に該当する学校を振り分け、同都市にあるKBA加盟店舗の洗い出しを行い担当者の候補を振り分けました。

### 4-1. 学校数の概要（幼稚園、小学校を除く）

No	場所	校数	KBA加盟店名	担当者	計
1	横浜市	393	パラダイスタマプラーザ、ジーク、ルーキー、アロウズ、レールバード、サイドナイン、プールラボ、メッカ横浜	崎村、片岡	8
2	川崎市	109	バディ、スミヨシ、富士、バグース川崎	早瀬	4
3	相模原市	76	ハナチャカフェ、ラリー淵野辺	小日向	2
4	平塚市	35	アミーゴ、ガイル	惣角、磯貝	2
5	鎌倉市	31		石井	1
6	藤沢市	51	コモルーム	石井	1
7	小田原市	27	A-1	安藤	1
8	茅ヶ崎市	23	211	惣角、磯貝	1

9	秦野市	15	A-1plus	安藤	1
10	厚木市	29	ミッドナイト、ブラッキーズ	上村	2
11	座間市	11	ホワイトハウス	奥村	1

800

4-2. 政令指定都市の学校数の概要（幼稚園、小学校を除く）

No	場所	区	校数	KBA加盟店名	担当者	計
1	横浜市	鶴見	26	アロウズ	丸岡	1
2		神奈川	37	レールバード	片岡	1
3		西	18			
4		中	28	メッカ横浜、プールラボ	銘苅、羅	2
5		南	20			
6		港南	15			
7		保土ヶ谷	15	サイドナイン	崎村	1
8		旭	23	アストロ鶴ヶ峰	佐藤	1
9		磯子	12			
10		金沢	20			
11		港北	32			
12		緑	18			
13		青葉	20	パラダイスタまプラーザ	持永	1
14		都筑	16	Zeke、ルーキー	谷、木下	2
15		戸塚	24			
16		栄	11			
17		泉	11			
18		瀬谷	12			
19	川崎	川崎	8	バグース川崎		1
20		幸	4	富士		1
21		中原	10	スミヨシ	早瀬	1
22		高津	5			
23		宮前	3			

24		多摩	12	バディ	逸崎	1
25		麻生	5			
26	相模原	緑	23			
27		中央	19	ラリー淵野辺、ハナチャカフェ	長谷川、小日向	2
28		南	25			

472

#### 4. 学校調査結果の課題

- 課題1 横浜市は広い為、担当者を細かく振り分けたいがKBAとの係りが浅い店舗オーナーを担当者にすると負担となり賛同を得られない可能性がある。（担当者は当人と話し合いのうえ任命する必要がある）
- 課題2 協会加盟店舗の無い都市は、ビリヤード台を設置したとしても担当者が割り振れないので学校に対してのサポートができない。
- 課題3 学校関係の知り合いや人脈がない。学校の窓口に通話しても門前払いされる可能性がある。

## 5. 担当者の役割

担当者は以下の活動を責任をもって実施する。

1. 電話の窓口となる事務局から担当者に連絡が届いた際には、学校の方と連携しメンテナンスやサポートを行う。
2. 担当者は定期的に（年3回を想定）道具のメンテナンスやレッスンをを行い、マナー、ルールの説明を行う。  
ただし、この活動にかかる費用（交通費、時給）はKBAが負担する。つまり担当者は無償のボランティア活動ではないものとする。
3. 担当者は、ビリヤード台のメンテナンスを行うことが目的ではなく、ビリヤードを身近に楽しめる人を増やしその環境を整備してあげられるように配慮する。

## 6. 学校へのビリヤード台設置方針の基本的な考え方

以下の方針に従い、アプローチを掛けていく候補の学校を洗い出し、優先順位をつけていくこととする

方針1 レクリエーション協会会長から紹介頂いた神奈川県障がい者スポーツ協会のヤマモトさんの伝手で校長会に出席しアプローチを掛ける【2022.7.28理事会後に追記】

方針2 人口の多い都市から順番にアプローチを掛ける

方針3 協会加盟店舗のある都市から順番にアプローチを掛ける

方針4 協会加盟店舗の中で、「6. 担当者の役割」を理解している理事のいる都市から順番にアプローチを掛ける。

## 7. アプローチの基本的な手段

1. ホームページから神奈川県下の全ての学校の電話番号を入手し一覧表を作成する
2. 私立、県立により学校の資材を管理する責任部署が異なる。適切な連絡先を入手し、対策前進で話を進める  
その際には資料として記録を残す
3. ホームページから学校の部活、教育方針を確認し、ビリヤード台を置ける可能性がありそうか当たりをつける
4. 電話でのコンタクトが取れたら、アポイントを取り付ける。ビリヤードの魅力アピールする資料を準備し説明  
ビリヤード台の設置を検討してもらう

## 8. 今後の為に

神奈川県以外の都道府県が同様にビリヤード台を寄贈するプロジェクトを実行できるようになった場合、その活動が少しでもスムーズに行える様にしておきたい。よって、参考資料として、これらの活動記録をドキュメントとして極力残していく事とする。